

新宿区教育委員会会議録

平成20年第5回臨時会

平成20年7月17日

新宿区教育委員会

平成20年第5回新宿区教育委員会臨時会

日 時 平成20年7月17日(木)

開会 午後 2時00分

閉会 午後 3時29分

場 所 新宿区役所6階第4委員会室

出席者

新宿区教育委員会

委 員 長 木 島 富士雄

委 員 羽 原 清 雅

教 育 長 金 子 良 江

委員長職務代理者 白 井 裕 子

委 員 熊 谷 洋 一

説明のため出席した者の職氏名

次 長 渡 部 優 子

教育指導課長 上 原 一 夫

審議委員会委員 石 村 康 代

社会科調査委員会
委 員 長 堀 竹 充

理科調査委員会
委 員 長 志 賀 定 一

教育政策課長 濱 田 幸 二

審議委員会委員 塩 練 裕 子

国語科調査委員会
委 員 長 八 田 瑞 穂

算数科調査委員会
委 員 長 上 野 和 彦

書記

教育政策課管理係長 久 澄 聰 志

教育政策課管理係 岩 崎 鉄次郎

教 育 政 策 課
管 理 係 主 査 安 川 正 紀

議事日程

議 案

- 日程第1 議案第63号 平成21年度新宿区立特別支援学校並びに新宿区立小学校及び
中学校の特別支援学級において使用する教科用図書（文部科学
省著作教科書及び一般図書）の採択について

協 議

- 1 平成21年度使用新宿区立小学校教科用図書の採択について（教育指導課長）

午後 2時00分開会

開 会

木島委員長 それでは、ただいまから平成20年新宿区教育委員会第5回臨時会を開会します。

本日の会議には全員が出席しておりますので、定足数を満たしております。

本日の会議録の署名者は、白井委員にお願いいたします。

白井委員 はい、了解しました。

議案第63号 平成21年度新宿区立特別支援学校並びに新宿区立小学校及び
中学校の特別支援学級において使用する教科用図書（文部科学省著作教科書及び一
般図書）の採択について

木島委員長 それでは、議事に入ります。

「日程第1 議案第63号 平成21年度新宿区立特別支援学校並びに新宿区立小学校及び中
学校の特別支援学級において使用する教科用図書（文部科学省著作教科書及び一般図書）の
採択について」を議題といたします。

では、議案第63号の説明を教育政策課長からお願いいたします。

教育政策課長 それでは、議案第63号を説明をさせていただきます。

1枚目を見ていただきますと、提案理由でございますが、義務教育諸学校の教科用図書の
無償措置に関する法律第13条及び第14条の規定に基づき、文部科学省著作教科書及び一般図
書を採択する必要があるためでございます。

これにつきましては、過日7月1日に教科用図書審議委員会から教育委員会あてに答申が
出されております。また、7月4日の教育委員会でその内容について協議をさせていただい
てございまして、その内容については変更もございません。よって具体的な中身の説明につ
いては、本日は省略をさせていただきます。

今回はそれを議案として提出をさせていただいているものでございます。御審議のほどよ
ろしくお願い申し上げます。

木島委員長 説明が終わりました。これに関して御意見、御質問をどうぞ。

この件に関しましては、前回の7月の会で提案され討論してきたことですので、よろしい
かと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔どうぞの発言〕

木島委員長 御意見、御質問がなければ、議案第63号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 議案第63号は、原案のとおり決定いたしました。

以上で本日の議事は終了いたしました。

協議 1 平成21年度使用新宿区立小学校教科用図書の採択について

木島委員長 次に、協議に入る前に、本日は教育委員会会議規則第15条の規定に基づき、前回に引き続き小学校教科用図書審議委員会の委員に出席を要請いたしました。

また、7月11日付で小学校教科用図書審議委員会から答申された各教科の調査結果を踏まえ、各教科の特性や指導要領の目標等について説明いただくために、小学校教科用図書調査委員会の各教科委員長に出席を要請して、おいでいただいておりますので御承知おきください。

それでは、前回に引き続き平成21年度使用新宿区立小学校教科用図書の採択についての協議に入ります。

本日の協議の進め方ですが、選択に当たって各科目ごとの特性、指導要領の中での目標等を明確に把握し、審議委員会の答申を踏まえながら進めることが必要です。この点について専門的に調査検討を行った調査委員会の各教科委員長から説明を受け、質疑を行います。本日は、国語科から生活科まで行います。

その後、本日出席の審議委員会委員に対し教科ごとに質疑を行います。

それでは、各項目ごとの特性、指導要領の中での目標等について、各教科委員長から説明してください。

まず、国語科からお願いします。国語科教育委員長殿。

八田国語科調査委員会委員長 国語科を担当いたしました落合第六小学校校長の八田と申します。

新学習指導要領が発表となり、来年からは移行措置が始まりますが、この2年間は移行措置ということで、実施する学校としない学校がございますが、教科書は現行のいわゆる改訂しない教科書を使うことになります。

さて、国語科の目標は、現行とも、あるいは新学習指導要領ともに、国語科を適切に表現し理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養

い、国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるとあります。

新学習指導要領のポイントの一つにもございます基礎的、基本的な知識技能の習得とともに、思考力、判断力、表現力の育成が掲げられています。これはもちろん現行の指導要領とも、伝え合う力を育成するというものとの符合にもなっておりますし、現段階でも重視されているものです。

そこには、これらの能力の基盤となるものが言語の能力であり、その育成のために小学校低・中学年の国語科において音読、暗唱、漢字の読み書きなど基本的な力を定着させた上で、各教科などにおいて記録、要約、説明、論述といった学習活動に取り組む必要があるとされています。さらに、総合的な学習の時間を中心とした探究活動の質的な充実を図ることなどにより、思考力、判断力、表現力を育成することとしています。

言語の特性、これは国語科の特性とも言いかえていいと思いますが、コミュニケーションの手段であるとともに、今申し述べました思考、判断、表現という人間にとって生きる営みに必須の能力を養うということです。言語の能力を各教科において育成すると申しましたけれども、国語はさらにももちろん、その中枢の役割を担う教科といえます。ここに大きな国語科の特徴があると思います。

この国語科には聞くこと、話すこと、読むこと、書くことという3領域の大きな内容がありますが、それに加えて言語事項というものがあります。新しい要領では、この言語事項というのが伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項となっております。

また、この言語事項のところに、現在ですけれども、書写というのが位置づけられています。文字のまとまった学習は小学校入学を機にして始まり、文字を書く基礎となる姿勢、筆記具の持ち方、点・角や一文字の書き方、筆順などの事項から、文字の集まりに関する事項へ、さらに目的に応じた書き方に関する事項へと系統的に指導し、日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育成することが重要となっております。

以上、申し述べましたように教科のねらい、特性について述べました。

さらに国語の書写、国語と書写の教科調査委員会で論点となったところや論議の内容を申し述べます。国語科においては、話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと、さらに言語事項、先ほど申し述べましたけれども、これらの事項がバランスよくそれぞれ扱われているか。2点目としては、物語文、説明文ともに指導事項の系統性を考えられているか。さらに、子どもにとって理解しやすい、あるいは読みごたえのある教材であるか。さらに、字数が限られている現時点では総合的な単元学習、いわゆる横の関連性、発展的な関連性がとられてい

るか、などのところで論点となりました。

書写に関しましては、国語の教科書にありますので、その内容との合致点、あるいは違う点、さらに教科書をよりよく生かすための資料等あるかということが論点になりました。

以上で報告を終わります。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。

はい、どうぞ。

白井委員 膨大な教科書の調査、お世話さまでございました。

1つだけちょっとお聞きしたいんですけども、今論点で3つを御説明してくれたと思うんですが、この3つの論点と、それから評価の基準として挙げられている内容の選択、構成・分量、表記・表現、使用上の便宜という基準ですね、それとの関係というのはどういう視点で考えたらよろしいのでしょうか。

八田国語科調査委員会委員長 今、申し述べましたおよそ3つの観点に関しては、およそ内容の選択にかかわるものだと思っております。それで、構成・分量とか表記・表現に関しては、いわゆる検定を通った教科書ですので、さほど変わってはいないのではないかという意見もございました。

白井委員 それじゃ、もう一つ、国語の教科書を選択するに当たって、特に基準として重要なポイントを占めていたというのは、その内容の選択という項目というふうに理解してもよろしいでしょうか。

八田国語科調査委員会委員長 はい、そうでございます。

木島委員長 ほかに。

ただいまの委員長の御報告の中に、いわゆる教員の指導経験が生かせる教材が非常に光村に多いということは、各先生方としてはやはり共通した認識でとらえてよろしいですか。

八田国語科調査委員会委員長 いい作品はずっと残っていることがありますので、教材研究が重ねられているということもございますので、なじみやすいことはあると思います。

木島委員長 ほかにいかがでしょうか。

それと、書写なんですけど、毛筆なんかはよく持ち方というのはどこの教科書にもよく載っているんですけど、最近の小学校だけではなく大人もそうなんですけど、鉛筆とかボールペンとか、そういう持ち方が物すごくみんなちょっとおかしいような持ち方をしている人が多いんですけど、そういう点の指導というようなことに関しても、選択された教科書で適当と判断されたんでしょうか。

八田国語科調査委員会委員長 はい。硬筆に関しては1年生、毛筆に関しては3年生が入門でございます。各教科書とも写真入りで大きく姿勢、持ち方等、丁寧に書かれておりました。これはすべての教科書にありました。

木島委員長 これは話がちょっとずれてしまうんですけども、実際に先生の印象で何パーセントぐらいの生徒の持ち方が正しい 正しいのが少ないというわけじゃありませんけれども、どうも非常にこの持ち方が、僕たちはよくデパートなんかへ行っても、おかしな持ち方をしているなという感じを受ける人が多いんですが、実際に小学校なんかで、学年は別にして、正しい持ち方というか、こういう持ち方がいいんじゃないかと思うような持ち方で書くのと、ちょっと変な握り方だなというのは、実際に6年生ぐらいになるとどのぐらい変な持ち方が残っちゃうものですか。教えていただければというだけの話ですけども。

八田国語科調査委員会委員長 なかなか、実感なんですけども、5割、6割ぐらいはできていて、だんだんその割合は大きくなっていると思うんですが、またシャープペンシルとか高学年で使いますので、いろいろな筆記具が出てきますので、ちょっと乱れているという傾向はあると思いますね。

蛇足ながら、1年生のときに筆圧がすごく弱くてまともに字が書けなかった子が今2年生なんですけども、きちんと漢字も書けていて、ちょうどそういうことが話題になりましたので、教育の効果があつたんじゃないかという話がきょう出ました。

木島委員長 ありがとうございます。ほかに、いかがでしょうか。

はい、どうぞ。

白井委員 ちょっと内容の点で、光村の場合、文学的文章の読みごたえのある文章が多いという内容の評価が出ているんですが、私も保護者の立場でこの教科書を見ていて、かなり低学年から文学的な作品が入っているなという形ですごく印象に残っているものが多いんですけども、やはり教師として教える場合にこういう文学的なものを低学年から用いるというのは、国語的な能力を引き上げるにはいいところがあるというふうに理解してよろしいでしょうか。

八田国語科調査委員会委員長 文学性が高いということが大事だというお話でしょうか。

白井委員 文学的文章が、読みごたえのある文章が多いという評価なので、それはかなり低学年のほうからも入っていますよね、この光村の場合は。

八田国語科調査委員会委員長 はい。

白井委員 それはやはり、さっき言った国語能力を高めるといった場合に適切な教材だとい

うふうに考えてよろしいのでしょうか。

八田国語科調査委員会委員長 はい。説明文とともに充実していると思います。

白井委員 説明文も充実しているということ、はい、わかりました。

木島委員長 よろしいでしょうか。

それでは、ほかに御意見、御質問がなければ、次に社会科をお願いいたします。

それでは社会科委員長、よろしくをお願いいたします。

堀竹社会科調査委員会委員長 社会科の委員長の、津久戸小学校の堀竹と申します。

それでは、小学校教科用図書社会科の調査結果について御報告をいたします。

今回の調査に当たりまして、現行の学習指導要領に示されております社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を培うという社会化のねらいを踏まえて調査をいたしました。

また、社会科の特性といたしまして、さまざまな角度から多面的に物を見る人間を育てることができるというような点が社会科の特性というふうに考えております。いろいろな考え方を学ぶ教科であるというふうに考えたとき、また社会生活に対する正しい見方、考え方の基礎や集団の一員としての自主的、自立的な生活態度の芽生えを育てるといったようなことについても社会科の教科としての大きな特性であると考え、このことも踏まえて調査をいたしました。

さらに、日本人としての自覚を持ち、国際社会の中で主体的に生きる資質や能力を育成する。また、基礎的、基本的な内容を厳選し、学び方や調べ方の学習、作業的・体験的な学習など、児童の主体的な学習を一層重視するという、現在の学習指導要領の2つの重視すべき事項として指摘をされている点についても調査の内容として考慮をいたしました。

具体的に調査を進めるに当たっては、前回の調査と同様に内容の選択、構成・分量、表記・表現、使用上の便宜という4つの観点から調査をいたしました。

調査の中で、論点として挙げたのは4点ございます。1つは、子どもに課題意識を持たせて学習に取り組ませるという点でございます。

2点目として、子どもが学習活動への関心を持って取り組むという点でございます。

そして3点目が、調べ活動の子ども自身での進めやすさ。

そして、4点目として、子ども一人一人に学び方を身につけさせる。以上の4点が調査委員会の中での論点として挙げてきた点でございます。

以上でございます。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。いかがでしょうか。

羽原委員。

羽原委員 さっき地図のことで話に触れたんですが、この文献地図のほうに竹島が出てきて、こっちの文献的な……遠い場所にあるということもあるけれども、ただ、やはりすぐ解決する、しないという問題もあるけれども、もう一方で、やはりトピカルな地であるから、やはり北方領土が地図の中でどうしても触れなきゃいかんということと同じように、竹島あるいは尖閣諸島、これはやはり遠くてもなければいけない、地図の中ではなければいけないと。

さっきちょっと言ったのは、伊豆七島の中で1つの島がなかったら、恐らく石原知事は激怒するであろうと。それじゃ小笠原、あるいは沖ノ鳥島は遠いからなくていいかという。同じように言うと、やはり島根県の人にとってはどうしても小さくても1コマ欲しいと。しかも、話題になっているところが地図にないと、どこかには別の広い地図にはあるけれども、やはりそういうものはちゃんとあるべきではないかと僕は思うんですけども。それが教科書の採択に直につながるわけではないけれども、一応、僕の意見として一言、御記憶願えれば。

木島委員長 はい、どうぞ。

白井委員 東京書籍のよい点として評価されている、問題解決型の学習が示されているというような評価があるんですが、具体的にはどのような形のところに現れているんでしょうか。

堀竹社会科調査委員会委員長 具体的には、東京書籍の各単元の具体的な構成の仕方が、すべての単元で、つかむ、調べる、まとめる、伝え合う、こういった一つの流れの中で著述がされているということで、小学校の社会科の問題解決能力の育成を考えたときに、このつかむ、調べる、まとめる、伝え合うというのは、まさに子どもの発達段階に適合した記述の構成になっているといったような点ですぐれているというような判断をいたしました。

木島委員長 よろしいですか。

白井委員 はい、わかりました。

木島委員長 羽原委員。

羽原委員 この東京書籍の48ページというか、49ページですかね。

〔何年生ですかの発言〕

羽原委員 東京書籍、6年の上の、これは参考までに伺いたいのですが、ここに教科書に出てくる人物という、これはこの人物を教えるべしという名前ですか。それとも教科書会社が選んだ人名があればいいということですか。

例えば、秋山真之が必要なのか、あるいは西郷隆盛はないとまずいんじゃないかとか。ただ、西郷隆盛は反政府軍に行ったから靖国神社に祭らないように、同じように教科書から除外されるのとかね。

堀竹社会科調査委員会委員長 ただいまの御質問でございますが、教科書の中で取り上げるべき人物は、学習指導要領の中で具体的に人物名が挙げられて示されております。それに従う形で教科書は作成をされている。ただし、それぞれの教科書会社で各人物の扱い方については軽重の差があるというような状況でございます。

羽原委員 例えば、ここに出ているのは全部、指導要領の中で触れている人物ということになりますか。

堀竹社会科調査委員会委員長 今ざっと見たところでは、すべて挙げられている人物ということでございます。

木島委員長 ほかに、ございませんか。

社会というものも非常に、先ほど冒頭で委員長が説明されたように、大変広範な内容の豊富なものですから、この東書等を見ても、目次等を見ても、非常に時代の流れでも膨大なものをここで教えなければいけないという形で、非常にそのよしあしの細かい点まで検討されて、本当にありがとうございます。どうも御苦労さまでした。

よろしいでしょうか。

ほかに御意見、御質問がなければ、次に算数科をお願いいたします。

上野算数科調査委員会委員長 算数科の調査委員会を担当いたしました花園小学校の上野と申します。よろしくをお願いいたします。

新しい学習指導要領におきまして、算数科の目標は算数活動を通して数量や図形についての基礎的、基本的な知識、技能を身につけ、日常事象について見通しを持ち、筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てると記載されております。

そこで、算数科のねらいというのを端的に申しますと、数学的な思考力、表現力を育成するというに尽きると思います。その数学的な思考力、表現力を伸ばすための活動として、算数的活動というのが今回の学習指導要領においても内容領域の1つとして設定されており

ます。そして、各学年において算数的活動の例示についても記載されております。

その算数的活動は、具体物を用いて数量や図形についての意味を理解する活動。知識、技能を実際の場面で活用する活動。問題解決の方法を考え、説明する活動と一般化されております。それに基づいて、各学年での例示の算数的活動というのが述べられております。

そう考えますと、算数科の目標である数学的な思考力、表現力を育成するということで、特に習得的な学習、要するに知識、理解、技能の習得というものと、探求的な活動、問題解決能力を高める、数学的な思考力、表現力を高めていく探求的な活動、それから日常生活への活用、または他の教科、他の学習への活用、そういう3点が改善の方針として出されております。

特に、根拠を明らかにして筋道を立てて体系的に考えること、言葉や数、式、図表、グラフなどの関連を理解して、それを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えをわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し、伝え合ったりするコミュニケーション能力などの指導の改善も必要だと考えております。

そこで、教科調査委員会で論点となったところを次に述べさせていただきます。

1つには、単元の配列という問題です。図形領域、数と計算領域、量と測定領域、数量関係というのがございますが、そういう単元の配列がきちっと子どもの実態に合わせて適切に配列されているかという問題が1点。それから、既習事項との関連性を踏まえた適切な教材教具が使われているかという問題、それから数学的な考え方を育てる問題になり得ているかどうかという問題、それと4点目に既習事項との関連性を重視しているかどうかという4点について論議を行ってまいりました。

最終的には、昨年度、前回の教科書採択と同じように東京書籍ということになりましたけれども、一般の先生には東京書籍のほうが、前回の審議のときにも使いやすいという学校の評価が高かったということ、あと調査委員会の中では大日本図書のほうがいいんじゃないかという意見もありました。そういうことを踏まえまして御報告させていただきます。

以上です。

木島委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。

はい、どうぞ。

白井委員 今、御説明ありましたその調査委員会のほうで、大日本図書のほうもいいんじゃないかというようなお声が上がったということですが、具体的にはどういうところが挙げら

れたんでしょうか。

上野算数科調査委員会委員長 発展的な問題が数多く取り上げられているという問題と、数直線をかなり重視して編集されているということで、東京書籍のほうは最後に発展的な問題を持ってきているんですけれども、大日本図書のほうは単元ごとに発展的な問題が数多く入っているという観点です。

白井委員 そうしますと、授業を進める立場でいうと、単元ごとに発展まであったほうが理解度に応じた形での問題をやらせられるという利点があるということですか。それとは関係ないですか。

上野算数科調査委員会委員長 算数が、研究している算数を専門的という観点ですと、今先生がおっしゃいましたように単元ごとで発展的な問題を扱っていくわけですけれども、小学校は全科ですので、特に算数を専門にしている先生方もいらっしゃらないので、そうすると東京書籍のようにステップを細かくした展開になっているほうが使いやすいという問題とか、あと東京都のシェアの問題があるんですけれども、いろいろ異動してきた場合、他区市で東京書籍を使っているのも使いやすいという面もありまして、学校現場からの評価が東京書籍のほうが高いということになると思います。

白井委員 あと、先ほどの説明の視点の中で、数学の日常生活への活用という視点からも評価を加えたという御説明がありまして、大阪書籍ですかで生活場面に結びつけた問題を扱っているというような形も出ているんですが、私は、子どもがつまずきそうな6年の下の比のところだけをちょっと各教科ごと比べさせていただいたら、結構、東京書籍が比の導入が32ページのところで、実生活の割合を、めんつゆとか乳酸飲料、コーヒー牛乳、サラダドレッシングというような、日常生活においてその比が必要になるんだよということを一番最初に問題提起して、そこから割合のほうに入っている。

ほかの教科書は、そのうちのドレッシングだけの中で割合を細かく、何か酢を多くしたりとか少なくしたりとやっていて、そういう点では東京書籍のほうが、視点としての算数と生活との結びつきというのがとてもわかりやすいなという感想はちょっと持ったんですけれども、そういう評価はやはり調査委員会のほうでも出たんでしょうか。

上野算数科調査委員会委員長 調査委員会のほうで、東京書籍のほうは単元の一番最初にそういう既習事項を羅列といいますか、それから今、先生がおっしゃいましたような日常生活でこういうふうな学習、こういうことが使われているというのが1ページで書かれています。そういうところで、いいのではないかという意見も出されました。

木島委員長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

本当に算数が好きになるか嫌いになるかは小学校で決まると思いますので、非常に検討するのも大変だったろうと思います。本当にどうもありがとうございました。

ほかに御意見、御質問がなければ、次に理科をお願いいたします。

理科委員長、よろしく申し上げます。

志賀理科調査委員会委員長 理科の調査委員長の江戸川小学校の志賀定一でございます。よろしくお願い申し上げます。

理科の目標は、自然に親しみ、見通しを持って観察・実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養うというのが目標でございます。

特性としましては3点。1つ目は、観察、実験、栽培、飼育など、児童の自然の事物・現象への意図的な働きかけを重視し、そういうような活動を通して自然の事物・現象について感じることができるようにすること。2つ目は、児童がみずから学び、みずから考える力や主体的な学び方を習得していくため、問題を見出し、それを解決し結論を得るための一連の活動を体験し、問題解決の能力を獲得するとともに自然の事物・現象について考えることができるようにすること。3つ目は、自然の事物・現象に関する問題解決の活動を通して事象の性質や規則性を実感することにより、科学的な見方や考え方を構築できるようにすることです。

そして、私たち調査委員としましては、特に実感を伴った理解を図る理科学習ということはどういうことだろうか、それは観察・実験など活動を通じて理解を図ること、そして見通しを持って観察・実験などを行うことにより、子ども一人一人がみずからの結果に責任を持ち、確かな理解を図ることであろうと。そこから考えると、実験・観察の手順がわかりやすいかどうかということがかなり大きなポイントになるであろうというふうに考えました。

それから、2つ目は、問題解決能力を育成する理科学習という観点、これが大事であろうと。特に3年生では自然の事物・現象を比較しながら調べていく、4年生では自然の事物・現象や働きを関係づけながら調べていく、5年生では自然の事物・現象の変化、働きを条件に目を向けながら調べていくこと、6年生では自然の事物・現象についての要因や規則性を推論しながら調べていくというようなことが重要であろうというふうに考えて調査しました。

それから、そのときに実験観察の取り上げ方はどうなんだろうか、見やすいのか、一連の中でその答となるようなものがどこに書いてあるのかというような、そんな観点も重要であ

ろうというふうにとらえて検討いたしました。

さらに、本当はコンピューターであるとか映像であるとか、そういうものがこれからますます大事になってくるわけなんですけれども、それについては教科書上ではそれほど差はないというようなことでありました。

それから、新宿区に合った教科書ということは、観点ではどうなんだろうかということで、館山移動教室に行ったときの地層の観察、それが生かされる教科書はどこであろうか。あるいは、緑化推進であるとか、緑のカーテンとか各学校で今進められていますけれども、そういう点についてはどうかというようなこと。

それから、さらに教科書の扱いやすさ。これは単純に申しまして、1冊にまとまっているか、分冊になっていて重いか、軽いとか、扱いやすいかというような点。それから、だれもが安全にかつ的確にできる実験方法が示されているか。

それから、観察と先ほど申しましたけれども、観察や実験のそのモデル、写真、図等が見やすいかどうか。これもダブってしまいますけれども、1つの課題が見開きになっていて非常にわかりやすいかどうか、問題解決のスタイルになっているのかどうか、それから危険・注意等が適切に書いてあるか、それから、さらに発展的な、私たちの研究等のそういう発展的なものが載っているかどうかというようなことで調査してまいりました。

結果は、前回の教科書採択のときと同じ結果が出ております。

以上でございます。

木島委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。

はい、どうぞ。

金子教育長 前回と同じ大日本ということなんですが、この中の「構成・分量」がBという評価になっていまして、ほかにAという評価を得たところもあるんですが、ここは何か理由がありますでしょうか。

志賀理科調査委員会委員長 大日本の教科書の構成のところのBというところでございますけれども、これはまず、例えば5年生の最初に出てきます教材が気象が出てくるのか、あるいは生物、植物栽培、植物の成長のところが出てくるのかというようなことなんですけれども、そのときに、あるいはそこにもあるんですけれども、そういう点、あるいは星座、天体等ですね。星の観察等のところでは配列はどうかというふうに考えましたときに、やはり季節的な、季節を感じるような気象みたいなものから入ったほうが新宿の場合はいいのかなと

というようなこともありました。

でも、これはすべてが一致しているのではなく、委員によってはそうじゃない、やはり植物から入るのがいいというようなさまざまな意見が出て、分かれているところでもございますけれども、そんなところも多少あります。

金子教育長 今のお話で、要は教科書をそのまま順番どおり教えるということではないということも含めて、Bであってもそれは差し支えないというか、ほかのこと等を見た場合にこれがいいということですね。

志賀理科調査委員会委員長 そうです。理科の場合は、自然の事物・現象ということで扱っていますけれども、地域性であるとか、さまざまな条件がございます、今、配列の問題もありましたけれども、扱う事物をそのとおりというわけにはなかなかいかないの、例えば新宿では昆虫等を観察するときに、新宿区の理科部のほうでは蚕を各学校に配って、そして桑の木が学校の中にあれば蚕を育てることによって昆虫の観察ができるというような、そんな配慮もすることになっております。

木島委員長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

こういう理科等では、それこそ身の回りのいろいろな自然ですとかいろいろな現象、そういうものをわかりやすく理解させるということで、それこそサミットではないですけれども、そういうことを理解するためにも必要な学問でありますから、写真ですとか全体のバランスとか、そういうところから選ばれたということでよく理解できました。どうもありがとうございました。

ほかに御意見、御質問がなければ、次に生活科をお願いいたします。

生活科の委員長。

塩練審議委員会委員 審議委員の塩練です。

本日、生活科調査委員会委員長の富井委員長のほうが御欠席でございますので、私のほうから説明をさせていただきます。

生活科の目標は、具体的な活動や体験を通して自分と身近な人々、社会及び自然とのかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その課程において生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養うというふうになっております。生活科は低学年1年生、2年生の科目であり、子どもたちが具体的な活動や体験を通して学ぶということを第一としております。

2つ目には、身近な社会や自然とのかわりの中で学ぶというように、自分もその中の一

員であるという形で社会や自然と関わっていくという、自分と社会、自分と地域、自分と物というような形での見方をしております。そういった社会や自然とかかわる中で、生活上必要な習慣や技能を身につけるというような観点もございます。

この活動が中心である生活科の教科書では、教科書をそのまま読んで学ぶという教科ではなく、教科書をきっかけにして体験や活動を通す中で学んでいくというような学習が行われます。そういうことを判断の材料にして今回、調査をいたしたというふうに伺っております。

そういった意味では、活動そのままをするということではなく、これをきっかけとしてどのような活動をするかということとはまた発展的にも考えていけますし、その活動をするときの参考にもしていく教科書をとということで調査のほうを進めたということでございます。

以上でございます。

木島委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。

はい、どうぞ。

白井委員 生活科のほうは、総合評価Aという部分の形の会社が数社出てきているわけですが、この辺のところでは生活科としては、やはりこれだけは押さえてほしいみたいな特に重点的に評価のポイントとして挙げたものというのはどんな視点だったんですか。

塩練審議委員会委員 塩練です。先ほども申し述べましたけれども、教科書で教えるということではないので、ある程度参考にするときにより活動に参考にしやすいものという観点では選んでおりますので、どれも具体的に活動としては書いてありますけれども、新宿の子どもたちにとってこの程度書いてあれば活動として参考になるのではないかというような視点も盛り込んでというふうに聞いてございます。

白井委員 それは、先生方が教えるきっかけとして入りやすいという 導入としてですね、そこから具体的に子どもたちに合わせて授業が発展しやすいとか、そういうふうに理解してよろしいのでしょうか。

塩練審議委員会委員 今、先生がおっしゃられたとおりでございます。身近な教材で学びますので、近くにある公園のある状況によって、それぞれの学校での具体的な状況はまた違いますので、それに合わせて発展的に学習を進めるということでございます。

白井委員 わかりました。ありがとうございます。

木島委員長 ほかに。

羽原委員。

羽原委員 ちょっと参考に。この春、東京書籍の「あきをたのしく、ふゆをげんきに」とあって、例えばこれは全国一律の教科書でしょう。北海道も鹿児島も、例えば北海道だったら雪と生活みたいなね。こういうのは全国一律でいいんですかね。

塩練審議委員会委員 そういった意味では、ここは新宿ですので、比較的これに沿った形で進められるような地域ではございますので、これに沿った形で計画を立てている学校もございますけれども、そういうふうに地方、ほかのところ、雪が春までまだ残っているような地域では、その辺はまた時期をずらして学習するとかということは実際に行われていることだと思います。

羽原委員 どうも全体的に都市型に過ぎるのではないかなという、いや、新宿区だから別に先生方がどうこうじゃなくて、難しい問題とは思いますが、僕は地方なんか勤務していると、やはりちょっとこれ都市型過ぎて、もったのびのびした子どもたち……何かちょっと違和感がある。新宿区にとっては非常にいいと思いますけどね。

木島委員長 いかがでしょう。

羽原委員。

羽原委員 どの教科でもいいんですが、現場的に言うと、子どもたちというのは横書きと縦書きとどっちが……横のほうがなじんでいるんですかね。いや、ちょっとこれを見たから。6対1か。

八田国語科調査委員会委員長 今お聞きしましたら、生活科は1社だけ縦書きということ。国語は基本的に全部縦書きですけれども、私自身、最近思うのは、ワープロなんか打つと全部横書きなんですね。それで、縦で打つと何か打ちにくい感覚もありまして、国語をその基本としながら、原稿用紙なんかはもちろん縦で書かせるわけですけれども、それは結構大きな問題で、句読点の問題とか、どこで切るかとか、あるいは文章のリズムというか、息遣いというか、そういうのも関係してくるので、なかなか難しい問題だというふうに思っています。

木島委員長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、ほかに御意見、御質問がなければ、これで国語科から生活科までの各科目ごとの特性、指導要領の中での目標等についての質疑は終了いたします。

調査委員会の各教科委員長の先生方には、本当に膨大な教科書の中で、各教科について私たちに専門家の立場でいろいろ検討され、適切な助言をいただいております。本当に御苦労さまでした。

それでは、御退席をいただきたいと思います。

〔各教科調査委員会委員長退席〕

木島委員長 それでは、協議を続けます。

当教育委員会は、8月1日の第8回定例会で教科用図書の選択を行うことを予定しています。そのためには、本日は国語科から生活科までの各科目について選択の対象となる教科用図書の候補の絞り込みを行うということでいかがでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めたいと思います。

教科用図書審議委員会の調査結果について科目順に質疑を行い、選択の対象となる教科用図書の候補の絞り込みをしたいと思います。

まず、国語について教科用図書審議委員会ではどのような審議、検討が行われたのですか。
塩練審議委員会委員 それでは、まず審議委員会での話し合いの様子について御報告いたします。

学校調査の結果と調査委員会の調査結果を両方まず見させていただき、それを一つの参考材料にし、新宿の子どもたちにとってどの教科書を使っていくのがよりよいかという視点で審議を進めてまいりました。

学校調査は、直接子どもにかかわっている先生方が、自分の学校ではどの教科書が合っているか、使い勝手がよいかということを経験的に判断したというふうに考えられます。また、教科調査の調査結果については、各教科を専門的な見地から学習指導要領に基づいて分析的に評価をしていただきました。この2つの調査結果については、いずれかを重視するというのではなく、ともに尊重する形で審議を進めました。

実際に教科書を手に取り、内容の選択、構成・分量、表記・表現、使用上の便宜等の観点から審議を行い、各教科書のすぐれている点について分析を行いました。そのため、各教科の調査委員会の結果と異なった結果になっているものもあります。

では、国語について御説明いたします。学校調査でも教科調査でも、光村がかなり高く評価されており、その次に、東書がややすぐれているという評価を受けてございます。

その東書ですけれども、1単元1領域になっており読みの重点化がなされている、読書活動の発展となる読書の窓が工夫されている等の理由から、審議委員会といたしましてもB評価といたしました。

大書、学図、教出については、よいところがあるが普通であるとして、審議委員会として

はC評価といたしました。

光村は、教材の初めに話す、聞く、書く、読むなど学習のねらいが明示されており、何を学習するのがわかりやすい。学年を追って系統的に教材が配列されており、積み上げられていくようになっている。文学教材は教員の指導経験が生かせる教材が多く、また児童にとっても文学的文章として読みごたえのある文章が多い。言語事項もしっかり取り上げられ、言葉の意味を調べる活動など語彙力をつける工夫がされていると多くのすぐれた点が挙げられ、審議委員会といたしましてもすぐれているとしてA評価といたしました。

以上です。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。

これは、学校調査でも光村ですし、調査委員会でも全体的にA評価、審議結果としてはAということで、そうしますと光村ということですが、御質問よろしいですか。

ほかに御意見、御質問がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

国語については、本日審議した中で、科目の特性、審議委員会の調査結果を踏まえ、皆様の総意として光村図書発行の教科用図書を、採択の対象となる教科用図書の候補とすることによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めさせていただきたいと思います。

次に書写について、教科用図書委員会ではどのような審議、検討が行われたのでしょうか。

塩練審議委員会委員 審議委員の塩練です。

それでは、続きまして書写について御説明をいたします。

学校調査でも教科調査でも、光村がかなり高く評価されております。

光村図書については、国語科の教材や児童の学校生活と関連の図られた題材が取り入れられており、児童が興味を持って学習しやすい、毛筆の導入では写真入りで姿勢や正しい筆遣い等についての説明がされており指導に生かせる、文字の中心や大きさ等、文字の組み立てに気をつけるような資料がわかりやすいなど、多くのすぐれた点が見られたためA評価といたしました。

東書については、毛筆の導入では初めて筆を使うときの筆に慣れる扱いが丁寧である、筆の運び方がよくわかるように表記されており、筆の使い方の指導がしやすい等の理由からB評価。

学図は、毛筆の導入では毛筆の学習の手順がきめ細やかに書かれていてわかりやすい、書

写での学習を生活に生かせるよう場面設定してあるのがよい等の理由から、同じくB評価にいたしました。

そして、大書、教出については、普通ということでC評価にいたしております。

以上です。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。いかがでしょうか。

これも学校調査、調査委員会また審議委員会の結果を踏まえて統一したような意見ということで、特によろしいでしょうか。

ほかに御意見、御質問がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

書写については、本日審議した中で、科目の特性、審議委員会の調査結果を踏まえ、皆様の総意として光村図書発行の教科用図書を、採択の対称となる教科用図書の候補とすることでよろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めたいと思います。

次に、社会について、教科用図書審議委員会ではどのような審議、検討が行われたのでしょうか。

塩練審議委員会委員 審議委員の塩練です。続いて、社会について御説明いたします。

学校調査でも教科調査でも、東書がかなり高い評価を受けております。

審議委員会でも、東書はどの学年も、つかむ、調べる、まとめる、伝え合うといった問題解決型の学習の進め方、考え方が例示されていて、基礎・基本の定着のために有効である、全体を通じてページの両脇に関連する指示等が配置されており、紙面の構成に工夫が見られる、凹凸のはっきりした点字を掲載するなど資料やイラストが充実しており学習活動に生かせるなどの理由から、A評価といたしました。

そのほかの教科書についても、大書は吹き出しの言葉が有効で、児童の作品としてまとめられているところが調べる意欲を高めている。教出は、資料を読み取るポイント等が明記されており、調べ学習を進めていくのに参考となる。光村は、課題の提示や学習の進め方が一定で、だれもが学習しやすい構成になっている。日文は、振り返りの欄を設け自己評価を取り入れているところがよいなど、それぞれのよいところが挙げられ、ややすぐれているという意見が出されましたので、B評価といたしました。

以上です。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。よろしいでしょうか。

特に御意見、御質問がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

社会については、本日審議した中で、科目の特性、審議委員会の調査結果を踏まえ、皆様の総意として東京書籍発行の教科用図書を、採択の対象となる教科用図書の候補とするということによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めたいと思います。

次に、地図について、教科用図書委員会ではどのような審議、検討が行われたのでしょうか。

塩練審議委員会委員 審議委員の塩練です。地図について御説明いたします。

東書は、ミニ知識などを取り上げ、児童が楽しく学習を進められるようにするための工夫が見られるなど、すぐれた点も見られるためB評価といたしました。

帝国は、学校調査でも教科調査でも、高い評価を得ております。

審議委員会でも、土地の高いところを雪が積もっているように白で表現しており、より立体的に捉えられる工夫をして入る、統計資料等巻末の資料が大変豊富で児童が主体的な学習を進めていく上で効果的である等の理由から、A評価といたしました。

以上です。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。

羽原委員、よろしゅうございますか。

羽原委員 いいです。

木島委員長 特に御意見ありませんね。

〔はいの発言〕

木島委員長 それでは、御意見、御質問がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

地図については、本日審議した中で、科目の特性、審議委員会の調査結果を踏まえ、皆様の総意として帝国書院発行の教科用図書を、採択の対象となる教科用図書の候補とするということによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めたいと思います。

次に、算数について、教科用図書審議委員会ではどのような審議、検討が行われたのでしょうか。

塩練審議委員会委員 審議委員の塩練です。それでは、算数について御説明いたします。

学校調査では東書の評価が高くなっております。また、教科調査では東書、大日本とも高い評価になっておりました。

審議委員会でも教科書に当たり、どのような点がすぐれているかについて検討いたしました。

東書は、数学的な活動が各学年に位置づけられており、思考力、判断力、表現力を伸ばすことに効果的である。問題解決型学習を意識して構成されており、既習事項の確実な理解と定着の上学習が展開されるように構成されているなど、多くの点ですぐれているということからA評価といたしました。

教科調査で評価の高かった大日本については、全体を通して数直線の扱い方が丁寧で、数直線を活用して問題を解決するように設定されているというすぐれた点が挙げられましたが、実際に子どもに指導する学校での調査の結果も考慮してB評価といたしました。

また、啓林館については、学校調査でも教科調査でもともに評価は高くありませんでしたが、身近な生活場面から問題を取り上げ、児童の興味、関心を引き出す工夫がされている、巻末の資料が学習意欲を高めるものになっているなどすぐれた点も挙げられたため、B評価といたしました。

そのほかの教科書につきましては、B評価といたしております。

以上です。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。

ちょっとお聞きしますけれども、数直線を活用するというのは、今回これが結構初めてなんですか。

塩練審議委員会委員 ほかの教科書会社でも、もちろん全然扱っていないということではありませんし、以前からかなり教科書には載っているものではございますが、大日本につきましては3年生の下巻のほうに出てくるところから、系統的にずっとどの場面でも数直線を扱っているというような作りがございまして、その辺での評価が教科調査のほうでは高かったというふうに認識してございます。

木島委員長 ほかに。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ほかに御意見、御質問がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

算数については、本日審議した中で、科目の特性、審議委員会の調査結果を踏まえ、皆様の総意として東京書籍発行の教科用図書を、採択の対象となる教科用図書の候補とするということによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めたいと思います。

次に、理科について教科用図書審議委員会ではどのような審議、検討が行われたのでしょうか。

塩練審議委員会委員 審議委員の塩練です。それでは、理科について御説明いたします。

学校調査では大日本が、教科調査では東書と大日本の評価がすぐれておりました。

東書は、どの單元にもチャレンジ学習があり、巻末に発展的学習としてまとめてあるのがよい。生命の学習等、児童が課題を選択したり比較したりしながら学習できるよう工夫してあるなど、すぐれた点がありますが、学校調査の結果を考慮してB評価にいたしました。

大日本は、予想、実験、まとめ、発展のように子どもの学習の進め方がはっきりしてわかりやすい。自由研究の進め方が提示してあり、科学的思考や活用能力を育てる上で効果的である。実験の写真が豊富で、児童が実験を行う上での注意事項が明示されており、子どもの注意を喚起するものになっているなどの理由からすぐれている点が多く、A評価といたしました。

そのほか、教出についてはB評価、学図と啓林館についてはC評価といたしました。

以上です。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。よろしいでしょうか。

御意見、御質問がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

理科については、本日審議した中で、科目の特性、審議委員会の調査結果を踏まえ、皆様の総意として大日本図書発行の教科用図書を、採択の対象となる教科用図書の候補とするということによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めたいと思います。

次に、生活について教科用図書審議委員会ではどのような審議、検討が行われたのでしょうか。

塩練審議委員会委員 審議委員の塩練です。それでは、生活について御説明申し上げます。

学校調査では東書の評価が一番高く、次いで学図が高い評価をされております。教科調査では東書、学図、啓林館、日文の評価がAとなっておりました。

審議委員会でも教科書に当たり、検討をいたしました。

学校調査でも教科調査でも評価の一番高かった東書については、アサガオの学習で学習カードが工夫されており、時間の変化と成長の変化がとらえやすい。他教科との関連や合科的な活動が提示されている等、具体的な体験や活動がしやすいように工夫され、児童の意欲を引き出す。見る、話す、聞く、探す等、調べ方のヒントが具体的であり、子どもが学習する手助けとなるなどすぐれた点が多く挙げられ、審議委員会としてもA評価といたしました。

そのほかの教科書につきましても、教科書に直接当たり検討を進めました。

大日本、学図、教出、啓林館、日文についてはそれぞれトレーシングペーパーを活用し、学習内容を効果的に示すとともに子どもの興味、関心を引くものとなっている。体験活動の活動例がたくさん紹介されており、子どもたちの活動の参考となる。巻末にある生活図鑑が資料として活用しやすいなど、それぞれにすぐれている点も挙げられておりますので、B評価。

大書、光村についてはC評価と審議委員会では評価いたしました。

以上です。

木島委員長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたらどうぞ。よろしいでしょうか。

御意見、御質問がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

生活については、本日審議した中で、科目の特性、審議委員会の調査結果を踏まえ、皆様の総意として東京書籍発行の教科用図書を、採択の対象となる教科用図書の候補とするということによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

木島委員長 それでは、そのように進めたいと思います。

以上で本日の科目ごとの質疑と、採択対象となる教科用図書の候補の絞り込みは終了いたします。

本日の協議は終了いたしますが、事務局から何かありますか。

教育政策課長 教育政策課長です。本日は特にございませんので、ありがとうございます。

閉 会

木島委員長 それでは、本日の教育委員会は、これにて閉会といたします。

午後 3時29分閉会